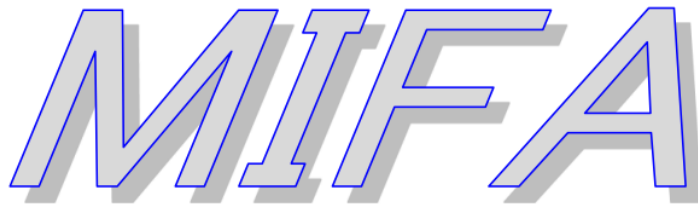


発行日：2023年10月2日

目次

「浴衣・うちわ作り」体験会	1
「ボランティア養成講座」始まる	2
私の国際交流 “I can do it” ～ 日本語学習アレコレ ～	3
漢字教室 ～ 日本語学習アレコレ ～	4
状況表	5
役員会便り	5
10月～12月の予定	6



「浴衣・うちわ作り」体験会

MIFA 友好部主催の「浴衣・うちわ作り」体験会が7月15日（土）午後、町田市民フォーラム3階の和室を使用して行われました。友好部主催のイベントは、コロナの影響で長らく行われていなかったため、2020年2月の「新春の集い」以来、3年半ぶりです。このイベントの準備の早い段階からスタッフとして参加し、当日は浴衣のモデルとしても活躍した福井さんがこのイベントについて報告してくれました。

イベントを終えて

福井 亜也（月曜クラス）

新型コロナが5類に移行し、随分と人出も増え、観光地では海外からの旅行客で賑わいを取り戻してきました。多くの人たちが日本の文化に触れる・体験することを旅の目的としているようです。MIFAでも「浴衣・うちわ作り」体験会を開催し、学習者の皆さんに日本の文化に触れてもらう機会を作りました。

当日、参加した学習者は14名。着付けを指導してくださった小林ひろ子先生、着付けを手伝ってくれた支援者15名ほどが加わり大盛況となりました。参加者は2つのグループに分かれて、浴衣体験とうちわ作りを交互に行いました。支援者からお借りした様々な浴衣と帯を選ぶところから楽しんでいただけたようでした。いざ自分で浴衣を着るとなると、浴衣の合わせ方や紐の結び方など難しいこともあり汗をかきながら一生懸命でしたが、帯を締め綺麗に着ることができ、皆さん素敵な笑顔でたくさん写真を撮っていたのが印象的でした。

団扇作りは皆さん各々のセンスで和紙をちぎり、団扇に貼っていました。オリジナルの団扇が出来上がり、楽しんでいただけたのではないのでしょうか。イベントの最後にみんなで団扇を持ち、浴衣姿で記念写真を撮りました。

不手際でスムーズに進行できなかった場面もありましたが、お手伝いで参加していただいた支援者の皆さんのお陰で無事に終わることができました。ありがとうございました。





「浴衣・うちわ作り」体験会 参加者の声

- ・ 祭りに行くため、浴衣を買いました。でも着方が難しい。今回着方を説明してもらって感謝しています。
- ・ 団扇作りは小学校の美術の宿題みたいです。美術が苦手の私にとって、難しかったです～
- ・ 浴衣会のようなイベントがあれば、ぜひ教えてください。参加したいと思います。
- ・ 初めて参加したイベントです。色々な日本文化に関することを体験し、すごく楽しかったです。
- ・ 先生たちが前々から準備してくれていて、とても感謝しています。
- ・ 日本の文化についてもっといろいろ勉強したいです。
- ・ 初めて浴衣を着て嬉しくなりました。夫と一緒に参加。日本の夫婦みたいな感じでした。
- ・ 夏のために木綿で作って服を着るのはとっても良い文化ですね。
- ・ 浴衣を着たら、女性らしい優雅さが自然と出てきたように感じました。
- ・ 団扇の体験も面白かった。手で和紙をちぎって貼るときれいな絵が出てきた。すごいと思います。

「ボランティア養成講座」始まる

2023年度「日本語学習支援ボランティア養成講座」の1回目が9月16日(土)午後、ぽっぽ町田で行われました。講師は前回と同じ山形美保子先生。受講者の皆さんはメモを取るなど熱心に講義を受けていました。講座は11月25日(土)まで毎回土曜日、全8回が行われます。今回、受講者募集はMIFAホームページへの記事掲載、ポスター掲示、チラシ配布によってお知らせするとともにショッパー、タウンニュース、武相新聞、まちだ社会福祉だよりに募集記事を掲載していただきました。定員を超える申し込みがあり抽選で受講者を決定しました。



日本語学習 アレコレ

MIFA の日本語教室は支援者と学習者が 1 対 1 でペアを組んで行う学習スタイルをとっています。月曜クラスの山本さんが、ペアを組んでいるカレンさんとの交流や学習内容について書いてくれました。カレンさんもメッセージを寄せてくれました。お二人の「挑戦」に拍手！

私の国際交流 “I can do it”

山本ひとみ（月曜クラス）

3 年ほど前に町田国際交流センターにコンタクトを取りその後 MIFA とのお付き合いが始まりました。支援者講習を受けている中でのコロナ禍。一時は気持ちも折れてしまいました。その後活動が始まり不安の中でのスタートでした。まず始めに苦労したのは、学習者さんとのコミュニケーションの取り方でした。母国の話を聞くこと。以前から海外の国にとっても興味があったので、それがまさに私の国際交流の始まりでした。

そして、約 1 年前に、現在の私の学習者さん、アメリカ人のカレン・ベイツさんとの出会いがありました。彼女は日本語がほとんどわかりませんでした。ところが文明の利器ですね。スマートフォンです。LINE 翻訳や Google 翻訳などを使い学習しています。最初はきっと楽しくなかったと思います。会話が出来ないという事は寂しいものです。その中で来週もまた行きたいなあと思ってもらいたい。そう考えていました。私も事前に英訳で文章を考えたり、英語での会話にも挑戦しています。

2 人で学習する内に日本語と英語の様々な違いに気づくようになりました。当たり前なのですが発音は特に感じます。彼女はよく音声翻訳で日本語の発声チェックをします。しかし根本から発音の仕方が違うので中々上手く変換出来ないのです。でも何回か練習して上手く発音が出来ると正確な変換が出来ます。その時の彼女の嬉しそうな顔が私は大好きです。彼女の明るい人柄が表れて楽しくなります。文法的にもこんな違いもあるのかといつも気付かされます。音声翻訳の弱点は発音の仕方で全く違うことばに変換されます。時々おかしい変換に 2 人で大笑いしています。

カレンさんはいつも”I can do it” ”私はできる”と言っています。ですから、私も “I can do it”。

これからも 2 人で楽しく一緒に挑戦していきたいと思います。

カレンさんからのメッセージ

At first, I was very reluctant to participate in the Japanese class. Learning a foreign language is very difficult, especially for adults. My teacher, Ms. Yamamoto, is very patient and friendly. She taught me a lot of things. I am very grateful for her help. I learned a lot from her. Thank you very much, Ms. Yamamoto.

Karen Bates

< 和 訳 >

最初は日本語教室に参加することにとっても抵抗がありました。外国語を学ぶことは、特に大人にとってはとても難しいことです。私の先生、山本さんはとても辛抱強くフレンドリーです。いろいろなことを教えてくれました。とても感謝しています。彼女からたくさんのことを学びました。山本さん、本当にありがとうございます。



山本さん（後ろ）と
カレンさん（前）

日本語学習 アレコレ



学習者が掲げる半紙には自分の名前が漢字で書かれています

月曜クラスで行われた漢字教室について支援者の本間さんが報告してくれました。日本語教室の各クラスは毎週1回2時間枠で学習しています。この枠内の一部の時間を使って漢字教室が実施されました。

漢字教室

本間 英美子（月曜クラス）

去る7月、3週にわたって朝礼時の約30分を使わせていただき、「漢字」をテーマにして学び合いました。

日本語の中で、漢字は表意文字、ひらがなとカタカナは表音文字となっています。また、日本語には、音読みと訓読みという2種類の読み方があり、それぞれに何種類かの読みがあります。例えば、「生」という漢字の音読みは、セイ、ショウですが、訓読みは多様にあります。生きる、生まれる等です。そのことが、読み・書きの場で難しいとされています。それは、漢字が中国から伝えられた歴史により唐音、漢音、方言等多様な条件下で日本語になってきたからなのです。こうしたことを、実際に漢字を筆ペンで半紙に書くことで、直に体験してもらおうと思いました。

一回目は、学習者の皆さんそれぞれが好きな漢字を、各支援者にアドバイスを頂きながら書いて発表することにしました。「夢」「愛」などを書いてもらい、紹介し合いました。皆さんそれぞれの個性が出ていて楽しい時間でした。

二回目は、約100字の漢字・かな混じり文を聴いて書くことで、正しく書くことができるか、支援者の指導を受けながら進めていきました。これは、かなり難しかったと思います。

三回目は、学習者さん自身の名前を漢字表記する課題に取り組みました。例えば、Maria⇒真理亜といった調子です。事前に支援者の皆さんには、担当の学習者の名前をどのように漢字で表記したらよいか、そしてその漢字の持つ意味も考えて来ていただき、当日学習者に半紙に筆ペンで大きく名前を書いて披露し合いました。そして、漢字圏である中国、韓国の学習者にも自分の名前を書いて、その持つ意味を発表してもらいました。大いに盛り上がった瞬間でした。

これら3回の漢字教室を通じて、学習者の皆さんには、少しでも漢字に慣れ親しんでもらうことができたのではないかと思います。一方、支援者である私は、「読む」、「話す」ことは日常の学習で進められていますが、今後は「書く」ことも取り入れていく必要性を大いに感じた次第です。

状 況 表 2023.7.29 現在

◆学習者数

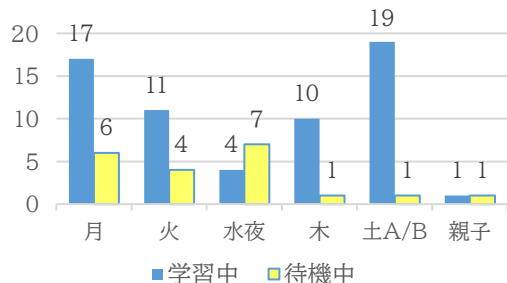
学習中	62
待機	20
合計	82

◆支援者

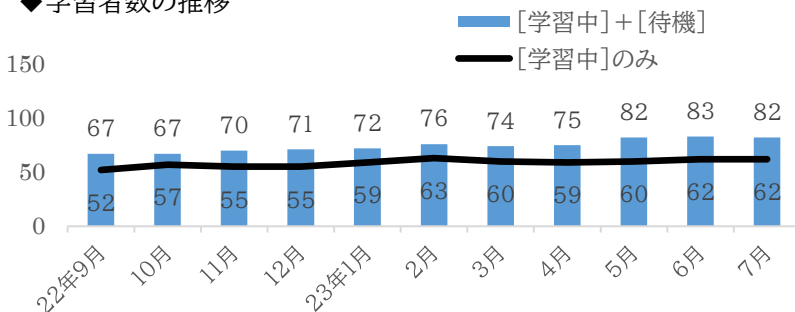
支援中	59
待機 or 休止	34
合計	93

学習中にはリモート学習中の 2 名を含む
支援中にはリモート支援中の 2 名を含む

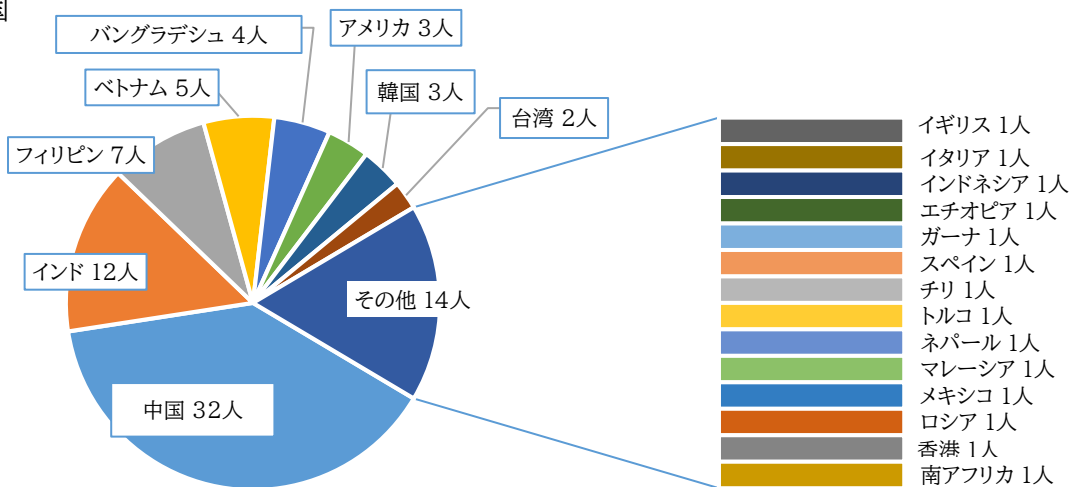
◆クラス別学習者数



◆学習者数の推移



◆学習者出身国



役員会便り

毎月第 2 火曜の定例役員会で話し合い、報告された事についてお知らせします

7 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習者動向に大きな変化はありません ・ 国際交流センター (MIC) 主催の日本語発表会が 2024 年 1 月 28 日 (日)、場所はフォーラム 3F ホールに決まりました。MIFA からは 4 名程度の発表者を考えています ・ 学習者のエントリーシート保管方法について、個人情報保護を徹底すること及びデータの簡略化を進めます ・ ボランティアセンター (ボラセン) 管轄分の教室について 2023 年度下期抽選予約をしました。結果は 8 月 1 日に HP に発表されます ・ ボラセン、MIC、東京日本語ボランティアネット (TNVN) への年会費を払い込みました ・ 「日本語学習支援ボランティア養成講座」は講師予定の山形美保子先生のご了解を得ることができましたので準備を進めます。HP へのアップ、タウン誌 (ショッパー、タウンニュース、武相新聞)、「まちだ社会福祉だより」への掲載依頼、チラシ作成とポスター掲示などで周知に努め、申込は HP からとします。9 月 5 日まで受付、25 名募集で応募者多数の場合は抽選になります ・ MIFA 創立 30 周年記念行事のおおよそのプログラムが決まりましたので、それに向けて役割分担など詳細の準備をしていくために夏休み期間中も話し合いの機会をもちます ・ MIFA ニュース 147 号は HP にアップ済み、各教室にも配布開始し、支援休止中の会員には郵送します ・ 創立 30 周年記念誌は全体のイメージができましたので原稿担当者に割り振りをし、夏休み中に原稿を集めます
----------	--

9 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7 月 15 日 (土) 午後、友好部の久しぶりの行事となった「浴衣・うちわ作り」体験会は、学習者 14 名 (内男性 4 名)、支援者 14 名の参加で、とても楽しく有意義な一日となりました ・ 年会費の入金者は 7 月末現在 91 名です ・ 新名簿を作成し、役員に配信しました ・ 10 月中旬の発行予定で企画中の MIFA ニュース 148 号は養成講座受講者にも配布します ・ 養成講座への応募者は、定員を大きく越える人数となりましたので、抽選で 27 名を選び、9 月 16 日からスタートします ・ 講座期間中は各教室への見学、学習者、支援者の体験談を聞く日などが設けてありますのでご協力お願いいたします ・ 講座で使用するためにマイクを購入しました。ハンディタイプとハンズフリーの 2 種類で、どちらも充電式です。講座終了後はロッカーに置くようにしますので、行事などで利用してください ・ 創立 30 周年記念行事案内のお知らせを出欠の返信ハガキとともに、会員および関係者に郵送します。参加人数を把握できますので、それに合わせて懇親会などの準備をします
----------	---

10月～12月の予定

- 9 月 16 日 (土) 日本語学習支援ボランティア養成講座 (全 8 回)
 ~11 月 25 日 (土) この間の 9/16、9/30、10/14、10/21、11/4、11/11、11/18、11/25 に実施 (すべて土曜)
 時間：毎回 13:30~15:30
 場所：9/16 ぼっぼ町田、 11/18 町田市民フォーラム、 他は せりがや会館
- 10 月 10 日 (火) 13:30~15:30 役員会 せりがや会館 大会議室
- 10 月 28 日 (土) 13:30~16:30 MIFA 創立 30 周年記念式典 町田市文化交流センター「けやき」
 ※MIFA 関係者のみ入場できます
- 11 月 14 日 (火) 13:30~15:30 役員会 せりがや会館 大会議室
- 12 月 12 日 (火) 13:30~15:30 役員会 せりがや会館 大会議室

12 月 24 日(日)~1 月 8 日(月) MIFA 冬休み

 掲載文及び写真の権利は MIFA に属しますので、許可なく転用することをお断りします

[編集委員]
 濱田敏裕 池田晴美 立石滋子

MIFA ニュース No.148 Oct/Nov/Dec2023
 発行日: 2023 年 10 月 2 日
 e-mail: mifa_machida@ybb.ne.jp
 ホームページ: <http://mifa-machida.info/>

